



学校便り

佐渡市立金井小学校 令和3年12月23日 第9号

ホームページ <http://kanai-es.sado.ed.jp> E mail : kanai-es@sado.ed.jp

人権について学ぶ・考える

校長 山田 裕之

12月は人権週間や人権侵害問題啓発週間など、人権にかかわった催しが多い月です。地域によっては12月を“人権月間”としているところもあるようです。金井小学校もこの時期に合わせ、積極的に人権教育に取り組みました。

1 人権教育強調週間（12月4日～10日）

強調週間の直前、12月3日（金）に全校一斉の道徳学習参観を行いました。すべての学級が、同和教育副読本『生きる』シリーズを活用した授業を公開しました。この日のために、教職員は夏季休業中に研修を行い、学習指導案を作成して授業に臨みました。



副読本「生きるⅠ・Ⅱ・Ⅲ」



道徳学習参観の様子

当日は、オンラインでの視聴も含め、約240名の方から参観いただきました。子どもたちの学ぶ姿を通して、保護者の皆様からも人権について一緒に考えていただけたのではないかと思います。

2 北朝鮮人権侵害問題啓発週間（12月10日～16日）

11月25日（木）に、曾我ひとみさんを講師に迎え、5・6年生を対象に『家族に対する想いを共に考える会』として実施しました。曾我さんからは「子どもたちが真剣に話を聞いてくれてうれしかった」という言葉をいただきました。



講師：曾我ひとみさん

昨今、拉致問題の風化が課題とされていますが、被害者が多い新潟県の一学校として、この取組を継続していくことこそが重要であると考えています。

今年の夏に開催された東京オリンピックでは、コンセプトの1つに「多様性と調和」が掲げられるなど、人権に対する意識や関心は世界的にも高まっています。一人一人が互いを認め合い、偏見や差別をなくす意志と行動力をもった人間を育成するため、これからも人権に関する学習機会を大切にしていきます。